

平成25年 1月24日

市民生活部 危機管理課

電話 0742-34-4930

平成24年度防災訓練の実施について

平成24年度の防災訓練を下記のとおり実施します。

記

1 目的

奈良市職員を対象に関係機関の参加協力を得て、奈良盆地東縁断層帯を震源とする地震想定の下上訓練を通じ、災害発生時の情報収集、整理・分析、指揮等を訓練し、初動活動期における迅速・的確な応急対策がとれる体制の強化を図る。

2 主要訓練項目

- (1) 災害情報の収集、整理・分析及び情報の共有について
- (2) 状況に応じた初動活動期の応急対策及び報告等について

3 訓練日時及び場所

- (1) 日時：平成25年2月3日（日）08：30～17：15
資料 「訓練時程（2月3日）」
- (2) 場所：正庁
資料 「訓練会場レイアウト」

4 参加者

- (1) 市長、副市長、危機管理監、消防長、災害対策本部各部部長及び部員（10名を基準）：約130名
- (2) コントローラー：9名（災害対策本部各部代表）
- (3) 関係機関（予定）：自衛隊、警察、指定公共機関等

5 訓練の概要

(1) 訓練実施の背景

ア 昨年度、台風による被害想定のもと、災害対策本部のレイアウトを示すなかで各部が発災以降に実施した応急対策と今後について本部会議の席上で報告・発表を行った。

イ 今年度は、昨年度から一歩進めて、大地震の災害想定による災害初動活動期における応急対策等について図上訓練を実施する。

(今回の訓練は、コンサルタント業者を介せず、総て職員が企画・実行するものである。)

(2) 訓練の進め方

ア 職員がコントローラーとプレーヤーに分かれ、コントローラーが事前に作成した想定状況等をプレーヤー（市の災害対策本部員）に付与し、プレーヤーがその状況に対し、必要に応じて応急対策等の役割行動をとる。

イ プレーヤーは、各部ごとに対応行動等を災害対策本部事務局を通じて本部長（市長）に報告する。

ウ 本部長等は、報告された情報等を踏まえ、対策・対応策の指揮をとる。

エ 災害対策本部会議において、各部はそれまでの応急対策等について整理し、パワーポイントを用いて報告する（情報の共有化を図る。）。)

本部長等は、今後の応急対策の基本方針や重点対応方針等を示す。

オ 最後に、本訓練を評価・検討し、実際の災害及び次回訓練に備える。

(3) 想定概要

ア 2月3日（平日とする。）午前9時、奈良盆地東縁断層帯を震源とする内陸型地震が発生、地震規模はマグニチュード7.0で震源の深さは約10km、奈良市では震度6強を観測、断層のずれは、東側隆起の逆断層

イ 2月3日（平日）、奈良市以外で震度6強を観測したのは、大和郡山市、大和高田市、天理市、橿原市、桜井市、三宅町、田原本町、斑鳩町、安堵町、川西町、広陵町、河合町など、各地域では、液状化・斜面崩壊が発生し、道路や鉄道が寸断している模様

ウ 市内では、家屋が多く倒壊、各所で火災が発生し、停電、断水などライフラインが大きな打撃を受けている。地域住民は続々と避難所に集まりつつある。

エ 観光客が足止めされており、一部は駅構周辺に集まり情報を求めている。

訓練時程（2月3日）

時間	項目	内容	備考
08:30~08:45	訓練内容の説明等	<ul style="list-style-type: none"> 市長開始挨拶 訓練内容の説明 	
08:45~11:00	図上訓練	<ul style="list-style-type: none"> 発災状況の発表 災害対策本部の設置 コントローラーから状況付与 <ul style="list-style-type: none"> 情報の収集・整理・分析・共有 各部の処置・対策の実施 市長等への報告 	
11:00~12:00	会議資料の整理	収集した情報及び処置事項の整理 (パワーポイントで発表準備)	
12:00~13:00	休憩		
13:00~14:30	災害対策本部会議	会議資料に基づき各部ごと発表	
14:30~15:00	研究会資料の整理	教訓事項、次年度への反映事項 等を整理	
15:00~16:00	研究会及び閉会	<ul style="list-style-type: none"> 整理した教訓事項を各部毎発表 市長終了挨拶 	
16:00~17:00	撤収		

訓練会場レイアウト

